

春の息吹

児童会活動が引き継がれて2週間が過ぎます。朝、玄関前には代表委員さんがあいさつ運動に立ち、明るい声をかけています。通路をはさんだ側では、美化委員さんが黙々と玄関の掃き掃除に取り組んでいます。そんな子どもさんの姿に触れて、朝から清々しい気持ちにさせてもらいました。

当番活動は、息の長い地道な活動です。今の新鮮な気持ちを大切にして、毎回毎回をぜひ根気よく取り組んでほしいです。

新しい体制で児童会が着実に動き始めていて、そんな様子からも学校が春を迎えつつあることを感じます。



黙々と当番活動

6年生を送る会

先日（1日）行われた『6年生を送る会』も、新児童会による計画で、心温まる笑顔いっぱいの会となりました。

4年生は、『こんにちはトランペット』の演奏をしました。6年生に一音一音の出し方から教わってきた集大成の曲です。また、一人ひとりがお世話になったことをメッセージにしました。各委員会活動やクラブ活動でのかかわりなど、4年生が新たに経験する活動に寄り添い優しく面倒をみてくれた6年生の姿が伝えられました。



優しくしてくれたお兄さんお姉さんに

3年生は、6年生が自分たちと同じ3年生だった頃のことを「思い出のアルバム」として伝えました。3年生のときにお世話していたうさぎのチロルちゃんの活動の紹介や、その頃クラスで作った「チロルちゃんの歌」も再現して歌いました。

1年生は、素敵な歌声と6年生一人ひとりに宛てた感謝の気持ちを込めたお手紙を贈りました。5人の1年生が15人の6年生にお手紙を書くことは大変だったことでしょう。でも、縦割り学級交流で一番結びつきが強かった6年生の皆さんですから、伝えたい気持ちもたくさんあったことでしょう。1年生の歌声に、思わず涙をこぼした6年生の姿が印象的でした。

2年生は、6年生の皆さんがかつて作った「麻績かるた」で遊び、麻績のことをたくさん学ばせてもらった感謝の気持ちを、「6年生かるた」にして伝えました。2年生が知りたかったうさぎの飼育方法について6年生から教えてもらっていたことも、この発表をとおして知りました。

5年生は6年生から教えてもらったこと、助けてもらったことをテレビドラマ風に再現したりダンスを交えたりして紹介しました。6年生からもお礼の発表の中でダンスの発表があったのですが、どちらも体の動きにキレがあり、とてもかっこよく、見ている側も大盛り上がりでした。ダンスがどんどん身近なものになってきていて、子どもたち皆、大好きです。どんどん体が動いたり、ダンスをとおして気持ちを伝えようと思ったりすることは、本当に現代の子どもらしさを感じました。

森山紗菜新児童会長さんのあいさつも、原稿に頼ることなくすべて暗記で話していて心に響き清々しい会の始まりとなりました。さすが新児童会長さんです。

5年生の新児童会による初の全校行事は準備もしっかり、進行も気配りが行き届いたすばらしい企画でした。大忙しだったことでしょう。お疲れ様。

会の最後には全校児童、先生方ばかりかこの会を参観くださっていた教育委員の皆様まで加わってくださり、皆でアーチをつくって6年生を送りました。在校生の皆さんすばらしい会をありがとう。6年生の皆さんに、在校生の感謝の気持ちが直に伝わったことでしょう。感動的な会となりました。



全校のアーチで送ります

高まる「呼びかけ」の声

卒業式に向けて、全校での呼びかけ練習が始まりました。1回めより2回め、2回めより3回めと朝の集会を重ねる度に子どもの声が響いてきます。在校生の気持ちも卒業式に向けていよいよ高まってきているから、と言えるのでしょうか。そして、理由はそればかりではありません。昼休みを使っただけの代表児童による練習は今日も続いていました。そして、子どもたち一人ひとりのがんばりや高まりをほめる話題が盛んに職員室で交わされています。先生方から子どもさんへ、そのがんばりを認め励ます言葉もかけられていることでしょう。学校中で卒業式に向けた準備を大切にしてくださっていることが感じ取れます。こんな麻績小学校、本当に素敵だと思います。



この練習の成果があらわれて

卒業式まで、残すところ4日となってしまいます。この麻績小学校の皆さんで過ごす一時ひとときを本当に大切にしたいと願います。